

学生の確保の見通し等を記載した書類

千葉大学情報・データサイエンス学部

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況	P3
ア. 学科等を設置する大学等の現状把握・分析	P3
イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析	P3
ウ. 新設学科等の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等	P3
エ. 学生確保の見通し	P4
A 学生確保の見通しの調査結果	P4
B 新設学部等の分野の動向	P5
C 中長期的な 18 歳人口の全国的, 地域的動向等	P6
D 競合校の状況	P6
E 既設学部等の学生確保の状況	P7
オ. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	P7
(2) 人材需要の動向等社会の要請	P7
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の 目的 (概要)	P7
② 上記①が社会的・地域的な人材需要動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	P8

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

本学情報・データサイエンス学部における学科は、情報・データサイエンス学科1学科とし、その入学定員は100名とする。その入学定員の学生の確保の見通しは以下のとおりである。

ア 学科等を設置する大学等の現状把握・分析

喫緊の社会課題であるデジタル人材の育成においては、これまで工学部や融合理工学府の情報工学分野が専門人材育成に貢献してきたが、文系理系問わず今日のデジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎的な素養を育成するため、令和2年度入学者より、数理・データサイエンス科目3単位を全学必修化している。この取組は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けるとともに、優れた取組として「リテラシーレベルプラス」の選定を受けている。

さらに専門的な知識・技能を養うため、令和2年度より、全学副専攻「数理・データサイエンス教育プログラム」を開始し、「修了証書（30単位）」「履修証明書（20単位）」を発行しているが以下のような課題と目標がある。

- ・主専攻の設置により、エキスパートレベルの人材を育成する教育体制の整備が必要
- ・主専攻があることによる波及効果で、全学のデータサイエンス教育の推進が必要（現在の副専攻履修学生は全体の3.3%）

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

教育未来創造会議より令和4年5月に出された「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」等において、日本のデジタル人材の不足が叫ばれており、本提言の中においても、『デジタル田園都市国家構想の検討においては、全ての労働人口がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できることを目指すとともに、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材を「デジタル推進人材」（ビジネスアーキテクト、データサイエンティストなどを想定）と位置づけ2024年度末までに年間45万人育成する体制を整え、2026年度までに230万人の育成を目指す』ことが示されている。

このとおり、デジタル人材の育成は社会的にも求められており、本学部の設置は社会的動向にも即したものと言える。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

前述の「学科等を設置する大学等の現状把握・分析」及び「地域・社会的動向等の現状把握・分析」を踏まえ、データエンジニアリング力、データサイエンス力、データサイエンス

展開力が統合的に求められるデータサイエンス技術者の育成に向け、新たに学部（入学定員100名）を設置する。

データサイエンスを実践的に担うデータサイエンス技術者には、前述のデータエンジニアリング力、データサイエンス力、データサイエンス展開力が統合的に求められる。しかし、学士課程において、これらすべてを高いレベルで修得することは困難であるため、データサイエンスの本質を理解し社会的課題の解決に応用できる人材（実践的データサイエンティスト）、及び情報工学の専門性を備えデータサイエンスの実現と高度化に応用できる人材（データサイエンス及び周辺技術の高度化を担う人材）を以下の2つのコースを置いて育成する。なお、これら2コースは1学科（情報・データサイエンス学科）のもとに設置し、共通部分の学修における連携や、実験、実習、卒業研究などにおける共同実施等を通して、社会におけるデータサイエンスの実践の場で求められるチームワーク力も涵養する。

【データサイエンスコース】

- ・ データサイエンスの応用に関する能力を強化した人材（実践的データサイエンティスト）を育成することを目的とし、データサイエンス力とデータサイエンス展開力の涵養に重点をおき、データエンジニアリング力については、基礎的事項の理解を中心とする。

【情報工学コース】

- ・ データサイエンスの実現技術に関する能力を強化した人材（データサイエンス及び周辺技術の高度化を担う人材）を育成することを目的とし、データエンジニアリング力とデータサイエンス力の涵養に重点をおき、データサイエンス展開力については、限定的な事例を通じた基礎的事項の理解を中心とする。

なお、学生納付金は、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令に基づき、本学が定める国立大学法人千葉大学における授業料その他の費用に関する規程に従って設定する。

エ 学生確保の見通し

A 学生確保の見通しの調査結果

① アンケートの概要

高等学校等の生徒に対するアンケート調査は、令和5年1月に実施した。対象は、本学の工学部一般入試において、前期日程と後期日程を併せて志願実績が3名以上（令和4年度一般入試実績）の千葉県内及び東京都にある高等学校等115校（千葉県：42校、東京都：73校）に在籍する2年生である。

当該アンケートの実施に当たっては、本学部の概要を示すためのパンフレット【資料1】

を配付し、当該パンフレットに記載されている本学部の養成する人材像等に関する情報を参考に、アンケート【資料2】に回答していただくという形で行った。

② アンケート結果

当該アンケート調査の結果、74校（回収率64.3%）、16,446名から回答（詳細は【資料3】のとおり。）があり、このうち、進路希望として大学進学を希望すると回答した高校生は16,031名であった。この16,031名に対して『「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）に合格したら、入学したいと思いますか』という質問を行ったところ、「入学したいと思います／とても興味がある」と回答した高校生は、2,982名という結果となり、本学部の入学定員である100名を大きく上回っている。

しかしながら、この2,982名のうち、諸々の事情により、実際には本学部を受験しない高校生も多く存在することになるものと思われる。したがって、2,982名のうちの10%が実際に本学部へ出願したと仮定したときの志願者数を算出する。

この志願者数の算出に当たり、本学の一般入試の状況に鑑み、当該アンケート結果が、本学部へ入学を希望する全国の高校生のうちのどれ位の割合を捕捉しているのかを考える。

本学の一般入試においては、今回のアンケートに回答のあった千葉県及び東京都の高等学校等74校からの志願者数が、千葉県及び東京都の高等学校等からの志願者数全体に占める割合は、およそ65%（令和5年度実績で64.7%）である。

また、千葉県内及び東京都の高等学校等からの一般入試志願者数が、大学全体の一般入試志願者数に占める割合は、およそ50%（令和5年度実績で51.8%）である。

これらのことから、本学部への志願者数は、今回のアンケート結果から以下の式により導き出すことができる。

$$\text{「本学部への志願者数」} = \text{「アンケートにおける本学部への入学希望者数」} \div 0.65 \div 0.5$$

この式に、2,982名の10%に当たる298名を当てはめると、本学部への志願者数は851名となり、志願倍率は9.2倍となる。また、「C 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等」において示すとおり、2033年までに18歳人口が対2022年比約89%の100万人程度となった場合、本学部への志願者数（298名から11%減の265名を上記の式に当てはめて算出）は815名となり、志願倍率は8.2倍となる。

以上のことから、当該アンケートにおいて本学部へ入学を希望すると回答した高校生のうち、実際に受験する者の数をかなり低く見積もっても、本学部が質の高い学生を確保する上で十分な志願者数を確保できると考える。

B 新設学部等の分野の動向

同じ首都圏に所在する横浜市立大学データサイエンス学部の一般選抜の志願者数等は以下のとおりであり、志願者数が多く、データサイエンスの学部の需要が確認できることから、

本学部の定員充足を見込むことができると考えられる。

		募集	志願者	受験者	合格者	入学者
令和5年度	前期	40	215	196	44	39
	後期	5	66	26	7	6
令和4年度	前期	40	210	191	49	44
	後期	5	61	28	5	4
令和3年度	前期	40	246	231	45	37
	後期	5	85	38	5	3

(出典：横浜市立大学 HP)

C 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

総務省統計局の人口推計（2022年（令和4年）10月1日現在）によると、日本全体の18歳人口は以下のとおりであり、2033年の18歳人口は対2022年比約89%となる。

2022年	2023年	2024年	…	2033年
1,128,000人	1,077,000人	1,056,000人	…	1,002,000人

※2022年は18歳，2023年は17歳，2024年は16歳，2033年は8歳人口を記載。

(出典：総務省統計局のデータをもとに作成)

また、本学の志願者の出身地（都道府県別）で一番多い千葉県について、千葉県のHPによると、令和4年度の人口比率は以下のとおりであり、5～9歳の人口は対15～19歳の人口比約90%となる。そのことから、10年後の2032年度における千葉県の18歳人口は上記の全国と同様の傾向となることが推察される。

5～9歳	10～14歳	15～19歳
250,875人	267,487人	278,052人

(出典：千葉県 HP)

上記のとおり、今後18歳人口が対2021年比約89%程度に減少することが想定されるが、後述の本学の志願者数を踏まえると、質の高い学生を確保する上で必要かつ十分な数の志願者を中長期的に安定的に確保できると考える。

D 競合校の状況

同じ首都圏に所在する横浜市立大学データサイエンス学部の一般選抜の志願者数は前述のとおりである。また、他のデータサイエンス系の学部を持つ大学の志願者数を見ると、例えば滋賀大学データサイエンス学部の志願者数等は以下のとおりとなる。滋賀大学においても、多くの志願者がおり、地域を問わず、全国的なデータサイエンスの需要を確認することができる。

		募集	志願者	受験者	合格者	入学者
令和5年度	前期	50	204	188	70	64
	後期	20	201	77	26	19
令和4年度	前期	50	171	160	80	73
	後期	20	136	61	25	20
令和3年度	前期	50	151	139	69	67
	後期	20	168	71	22	15

(出典：滋賀大学 HP)

E 既設学部等の学生確保の状況

本学は、一般選抜の志願者数が令和5年度入試まで8年連続で国立大学1位となっており、【資料4】に示したように、既存の工学部総合工学科情報工学コースにおいても、志願者数は安定して高いレベルにある。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学部は、学生確保に向け、今回高等学校等に対して実施したアンケート結果を踏まえるとともに入試関連業者等とも連携し、高校生やその保護者、高等学校等に本学部の趣旨や特色等を理解してもらうための広報を積極的に行っていく。

具体的には、本学部が養成する人材像や当該人材を育成するための特徴的なカリキュラム等を紹介すべく、速やかにホームページを開設するほか、より詳細なパンフレットを作成し、高等学校等に配付する。

また、本学が主催もしくは参加する大学説明会や進学相談会等において本学部の広報を行うことは当然のことながら、学部独自に高等学校等の進路指導担当教諭、高校生及びその保護者向けの説明会の開催を予定している。

さらには、本学では例年11月にオープンキャンパスを実施しているが、この機会を最大限に活用し、本学部の魅力を高校生等に直接伝えていきたいと考えている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

前述のとおり、教育未来創造会議より令和4年5月に出された「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について (第一次提言)」等において、日本のデジタル人材の不足が叫ばれており、本提言の中においても触れられているように、『デジタル田園都市国家構想の検討においては、全ての労働人口がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できることを目指すとともに、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材を「デジタル推進人材」(ビジネスアーキテクト、データサイエンティストなどを想定)と位置づけ2024年度末までに年間45万人育成する体制

を整え、2026年度までに230万人の育成を目指す』ことが示されている。

これらの社会的要請を受け、本学部において、以下の2コースを設置し、データサイエンスの本質を理解し社会的課題の解決に応用できる人材（実践的データサイエンティスト）、及び情報工学の専門性を備えデータサイエンスの実現と高度化に応用できる人材（データサイエンス及び周辺技術の高度化を担う人材）の育成を行う。

【データサイエンスコース】

- ・ データサイエンスの応用に関する能力を強化した人材（実践的データサイエンティスト）を育成することを目的とし、データサイエンス力とデータサイエンス展開力の涵養に重点をおき、データエンジニアリング力については、基礎的事項の理解を中心とする。

【情報工学コース】

- ・ データサイエンスの実現技術に関する能力を強化した人材（データサイエンス及び周辺技術の高度化を担う人材）を育成することを目的とし、データエンジニアリング力とデータサイエンス力の涵養に重点をおき、データサイエンス展開力については、限定的な事例を通じた基礎的事項の理解を中心とする。

② 上記①が社会的・地域的な人材需要動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学部で養成する人材が、実際に社会的な人材需要に即したものであるかを調査するため、令和5年1月に348社の企業等に対して、本学部のパンフレット【資料1】に示されている情報を基に、アンケート【資料5】に回答いただくという形で調査（web調査）を行った。

当該アンケート調査の結果、79社から回答（回答率22.7%で、アンケート結果の詳細は【資料6】のとおり。）があった。

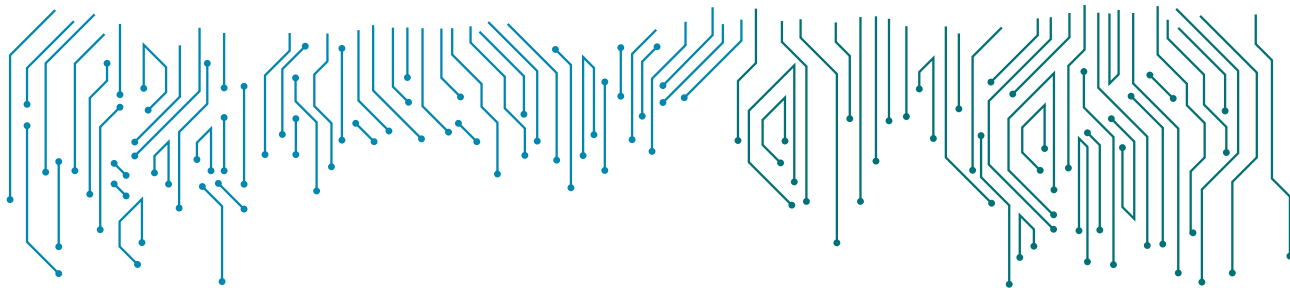
当該企業等からは、『千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）がこれからの社会にとって必要だと思われませんか』という設問に対し、「必要だと思う」が93.7%、『千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について採用したいと思われませんか』という設問に対し、「採用したいと思う」が88.6%であるなど、企業等は本学部が育成する人材に対して非常に高い関心を持っていることがわかった。

また、本学部に係る自由記述において、「データ分析能力は、今後の社会創造、新しい価値観を創造する上で必要である」等、本学部の趣旨に賛同する旨の意見を多数いただいた。

以上のことから、本学部が育成する人材は、企業の多くが求めている人材と一致しており、当該人材に対する社会的需要は高いとすることができる。

資 料 目 次

資料 1. パンフレット	P2
資料 2. 高校 2 年生への千葉大学情報・データサイエンス 学部（仮称）に関するアンケート	P3
資料 3. 高校生へのアンケート結果	P4
資料 4. 千葉大学学部入試状況	P16
資料 5. 企業等への千葉大学「情報・データサイエンス 学部／学府」（仮称）に関するアンケート	P17
資料 6. 企業等へのアンケート結果	P28



千葉大学情報・データサイエンス学部

総合情報学科（仮称）

【令和6年（2024年）4月開設に向け、設置構想中】
※記載内容は全て構想中のものであり、変更となる可能性があります。

千葉大学は、データサイエンス技術者を育成するため、
令和6年度に工学部総合工学科情報工学コースを改組し、
情報・データサイエンス学部総合情報学科を新設します。
この新学部には「データサイエンスコース」と「情報工学コース」を設けます。

情報工学 × データサイエンス = 実践的データサイエンティスト

育成する人材像

情報技術の急速な進化により、大量のデータに基づいた的確でスピーディな意思決定や判断を支援するデータサイエンスが世の中を大きく変えようとしています。本学部では、情報工学とデータサイエンスを統合したカリキュラムを通して、様々な分野にデータサイエンスによる革新をもたらす人材を育成します。

- ▶ データサイエンスコース
データサイエンスの本質を理解し、社会的課題の解決に応用できる人材
- ▶ 情報工学コース
情報工学の専門性を備え、データサイエンスの実現と高度化に応用できる人材

カリキュラムの特色

- ・データサイエンスの応用に関する能力を強化した人材を育成するデータサイエンスコースと、データサイエンスの実現技術に関する能力を強化した人材を育成する情報工学コースを設置し、緊密な連携のもとで教育を実施します。
- ・1、2年次はコース分けを行わず、2年次から3年次に進学する時点で、学生がデータサイエンスと情報工学のいずれかのコースを選択します。
- ・3年次以降の専門科目において、情報工学に関する専門分野及び総合大学としての千葉大学が持つ多様なデータを活用したデータサイエンス専門分野（「Well-being」、「Innovation」、「Sustainability」、「Digital Humanities」）を設け、実践的なカリキュラムを構築します。

卒業後の進路

- ・大学院への進学に加え、情報関連の企業等へ就職し、データサイエンティスト等で活躍することを想定しています。

キャンパス・学納金

- ・キャンパス：西千葉キャンパス（千葉市稲毛区弥生町 1-33）
- ・学納金：入学料 282,000 円 授業料（年額）642,960 円

千葉大学情報・データサイエンス学部（仮称）に関するアンケート

千葉大学では、デジタル人材全体の底上げ、専門人材の育成等といった社会の要請に応えるため、総合大学である強みを活かし、新たな学部を設置のうえ、「データサイエンスの本質を理解し、社会的課題の解決に応用できる人材」および「情報工学の専門性を備え、データサイエンスの実現と高度化に応用できる人材」を育成したいと考えております。

このような千葉大学新学部構想の実現に向け、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

※本アンケートや同封した資料に記載されている事項は全て予定であり、内容が変更になる可能性があります。

※本アンケートへの回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。また、本アンケートより得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

次の設問について、該当する選択肢に☑をご記入ください。

問1 性別

男 女

問2 所属クラス

文系クラス 理系クラス 普通クラス その他（ ）

問3 進路希望（複数選択可）

大学進学 短期大学進学 専門学校等進学 就職 その他（ ）

*****以下は、問3進路希望で「大学進学」を選択した方はご記入ください*****

問4 あなたが進学を希望する大学の所在地

居住地から通学可能な地域 所在地はこだわらない 海外

問5 あなたが大学・学部を選ぶ基準として特に重視している点（3つ以内）

大学・学部の知名度 大学・学部の偏差値 大学の所在地 入試科目 専門分野
学生サポート体制 海外留学制度の有無 授業料 取得可能な資格・免許
卒業後の進路 キャリア教育や就職支援の充実 その他（ ）

問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか。（あてはまるもの全て）

工学（情報・データサイエンス） 工学（情報・データサイエンス以外） 理学
生活科学（食物・栄養学、被服学、児童学など含む） 経済・経営・商学
芸術学（美術・デザイン、音楽など含む） 法学（政治学など含む） 教員養成・教育学
文学（考古学、地理学、歴史学、哲学など含む） 農・水産学 社会学 心理学
看護・保健学 医学 薬学 国際関係学 総合科学 語学（言語学など含む）
その他（ ）

問7 千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
データサイエンスコースと情報工学コースを設置し、緊密な連携による教育を実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1, 2年次はコース分けを行わず、3年次進学時にコースを選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総合大学の持つ多様な分野のデータを活用した幅広い演習科目を開設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
データサイエンスの応用分野にかかる実践的科目を開設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問8 あなたは、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。

受験したいと思う 受験したいと思わない わからない

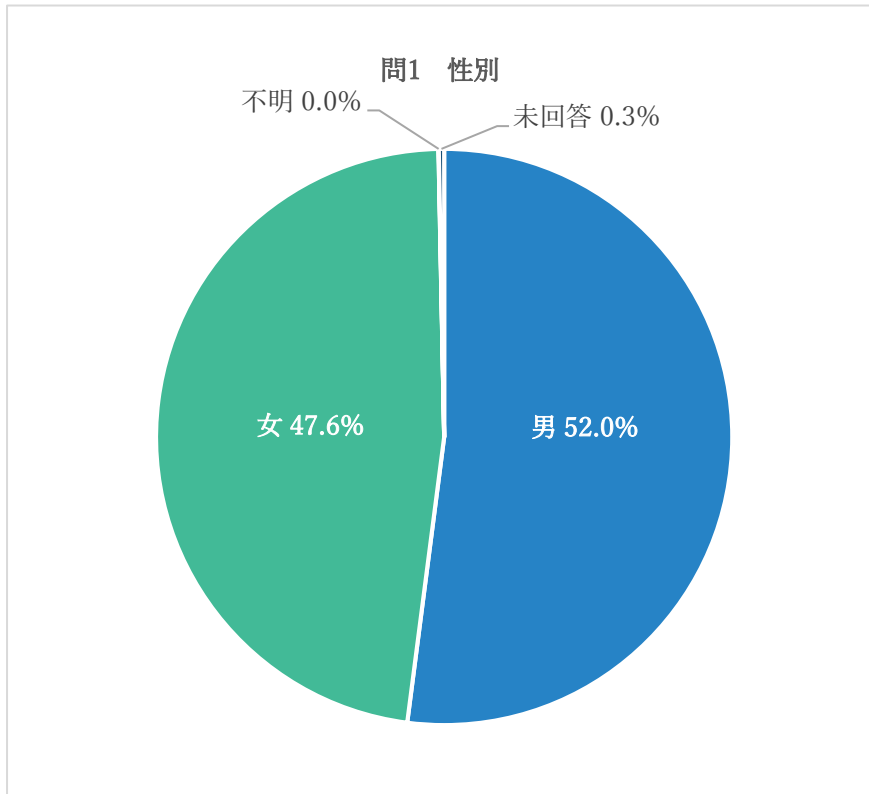
問9 あなたは、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）に合格したら、入学したいと思いますか。

入学したいと思う／とても興味がある 入学したいとは思わない わからない

ご協力ありがとうございました。

問1 性別

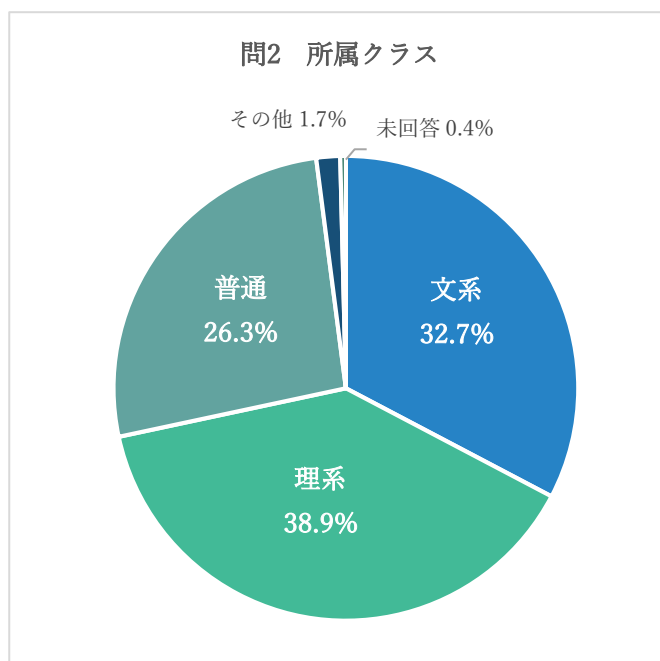
	男	女	不明	未回答	合計
人数	8561	7835	3	49	16448
割合	52.0%	47.6%	0.0%	0.3%	100.0%



問2 所属クラス

	文系	理系	普通	その他	未回答	合計
人数	5379	6406	4326	273	64	16448
割合	32.7%	38.9%	26.3%	1.7%	0.4%	100.0%

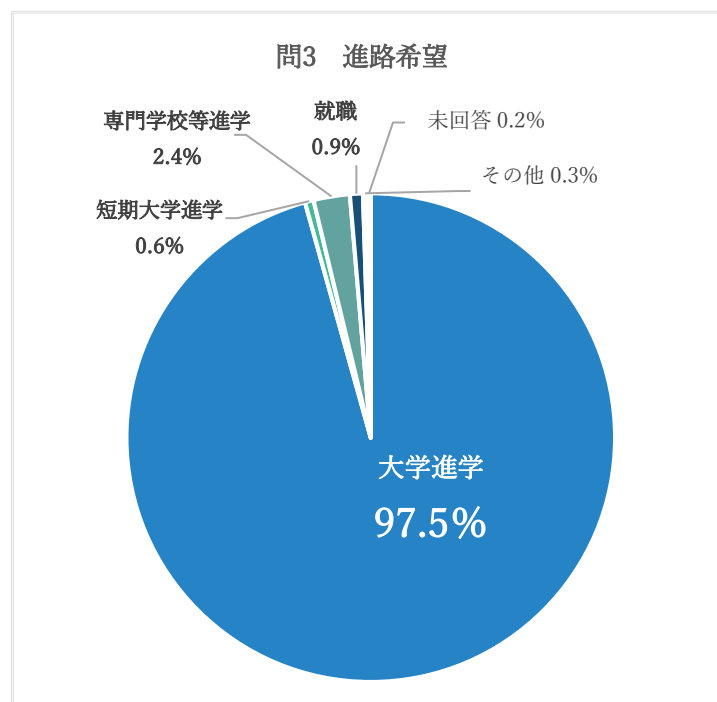
問2 その他自由記載	人数
文理	64
情報システム	32
スポーツ	29
園芸	25
芸術	23
特進	14
音楽	8
GLC	5
理数科	4
国際教養	4
文転	3
ST クラス	2
特進選抜	1
帰国子女	1
F	1
特進（文理混合）	1
芸術（美術）	1
特別支援	1
未選択	1
フリーター	1
文理クラスなどない	1
英語コース	1
優秀クラス	1
来年文転	1
わかくさ学級	1
医薬看護	1
医歯薬	1
わからない	1
総計	229



問3 進路希望 ※複数選択可

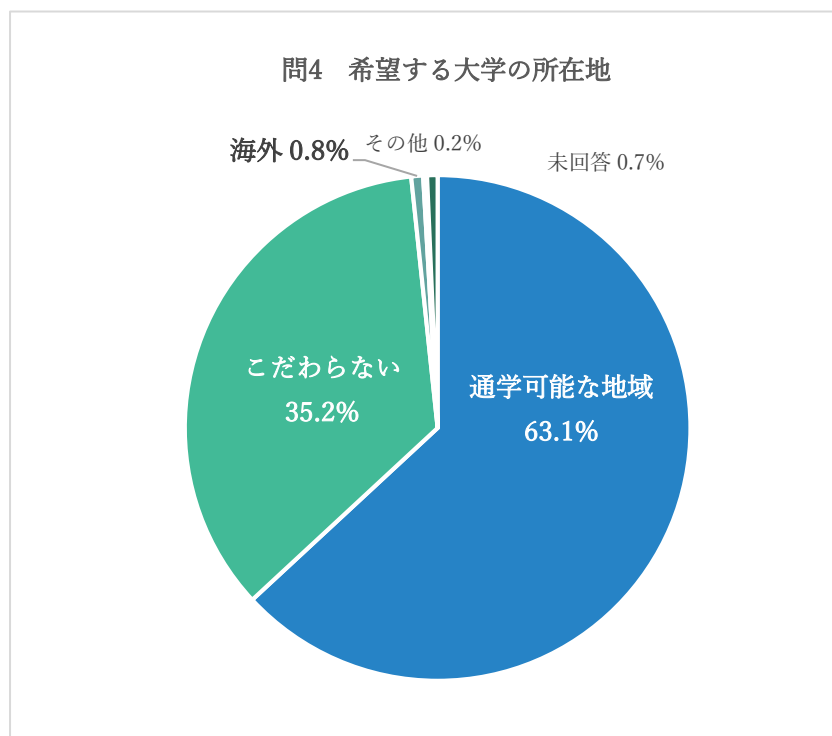
	大学進学	短期大学進学	専門学校等進学	就職	その他	未回答	合計
人数	16031	96	402	144	48	37	16758
割合	97.5%	0.6%	2.4%	0.9%	0.3%	0.2%	101.9%

問3 その他自由記載	人数
留学	9
ライン生命就職	3
ラッパー	3
通信大学	3
お嫁さん	2
海外大学進学	2
専門職大学進学	1
海外	1
大学校進学	1
世界一周	1
移住	1
音大進学	1
未定	26
総計	54



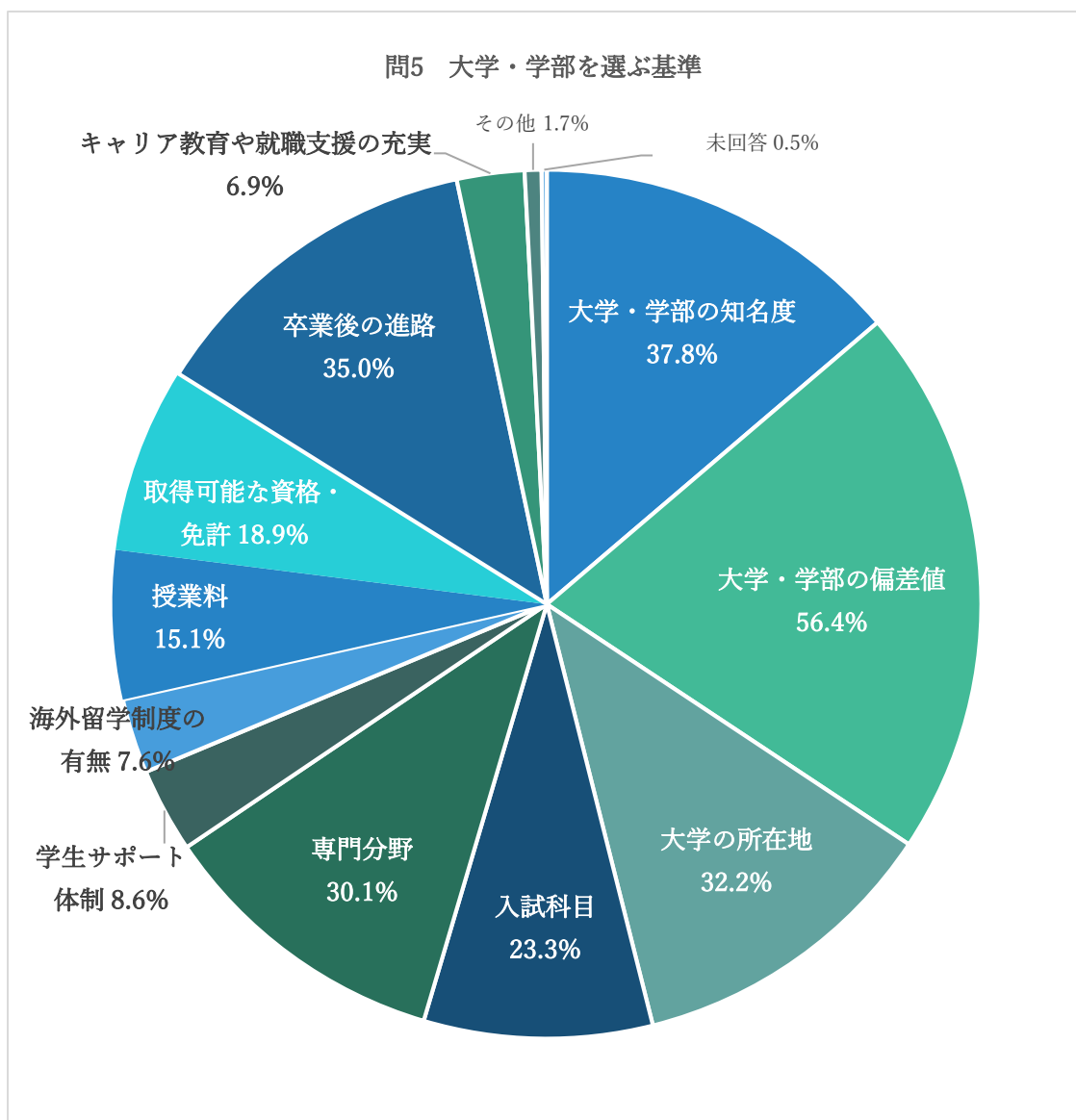
問4 あなたが進学を希望する大学の所在地 ※大学進学希望のみ

	通学可能な地域	こだわらない	海外	その他	未回答	合計
人数	10116	5647	121	40	107	16031
割合	63.1%	35.2%	0.8%	0.2%	0.7%	100.0%



問5 あなたが大学・学部を選ぶ基準として特に重視している点（3つ以内）※大学進学希望のみ

	大学・学部の知名度	大学・学部の偏差値	大学の所在地	入試科目	専門分野	学生サポート体制	海外留学制度の有無
人数	6052	9034	5165	3736	4825	1382	1222
割合	37.8%	56.4%	32.2%	23.3%	30.1%	8.6%	7.6%
	授業料	取得可能な資格・免許	卒業後の進路	キャリア教育や就職支援の充実	その他	未回答	合計
人数	2428	3034	5612	1105	275	84	43954
割合	15.1%	18.9%	35.0%	6.9%	1.7%	0.5%	274.2%

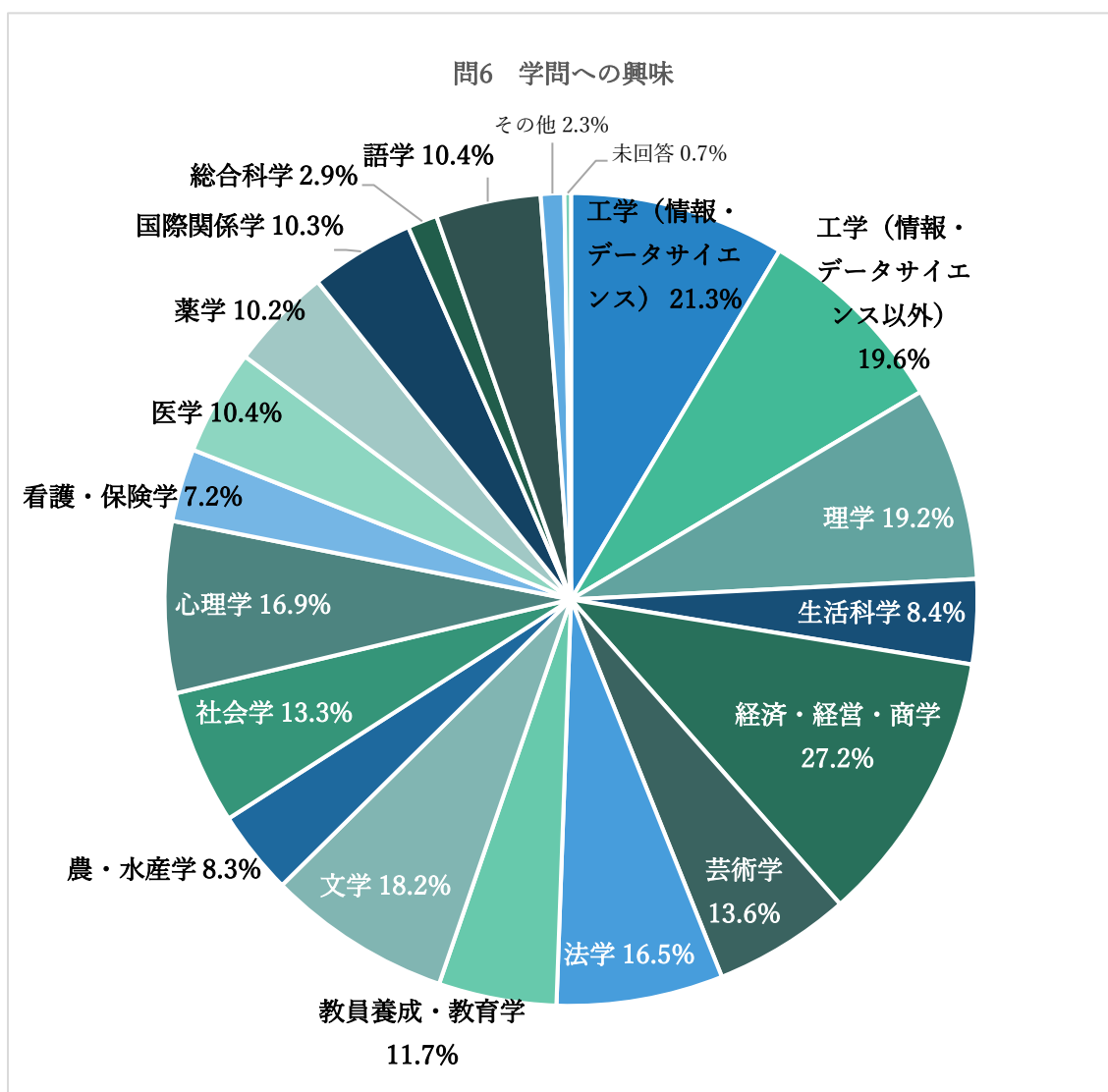


問5 その他自由記載	人数
サークル・クラブ活動・部活動（駅伝・箱根駅伝/野球/将棋/陸上/サッカー/スポーツ）	61
授業内容・質	31
研究室・研究内容・ゼミ	21
興味・好きなことができる	20
教授	11
大学・学部の雰囲気	11
キャンパスの設備	9
カリキュラム・教養課程の長さ	9
面白さ・楽しさ	8
立地・通いやすさ・路面電車で通えるか	4
学生の雰囲気・レベル	3
かっこよさ	3
大学生活の充実さ	2
男女比	2
直感	2
マウントとること	2
周りからの評か・知り合いの大学生の評価	2
国立	2
学部	1
その大学が好きかどうか	1
院の研究内容	1
大学の特徴	1

問5 その他自由記載	人数
授業の質や環境の充実性	1
出身の声優	1
学校の雰囲気、人間の傾向	1
資料収蔵量	1
食べ物がおいしい地域か	1
少人数制	1
留年率	1
地域の環境	1
校風	1
親の都合	1
己の能力を最大限出せる	1
暇があるか	1
個性を伸ばせる大学か	1
建物がどの素材からできているか・風通しがいいか	1
卒業生の平均年収	1
すごいところ	1
専門以外の学びの幅	1
希望の学部ならどこでも	1
就職率	1
器の大きい人材になれるか	1
国家試験合格率	1
未定・特になし	7
総計	235

問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか（あてはまるもの全て）※大学進学希望のみ

	工学（情報・データサイエンス）	工学（情報・データサイエンス以外）	理学	生活科学	経済・経営・商学	芸術学	法学
人数	3419	3149	3080	1343	4357	2178	2642
割合	21.3%	19.6%	19.2%	8.4%	27.2%	13.6%	16.5%
	教員養成・教育学	文学	農・水産学	社会学	心理学	看護・保険学	医学
人数	1870	2922	1337	2133	2717	1156	1673
割合	11.7%	18.2%	8.3%	13.3%	16.9%	7.2%	10.4%
	薬学	国際関係学	総合科学	語学	その他	未回答	合計
人数	1631	1659	471	1667	371	105	39880
割合	10.2%	10.3%	2.9%	10.4%	2.3%	0.7%	248.8%



問6 その他自由記載	人数
体育・スポーツ	61
スポーツ科学・スポーツ学	29
観光・観光学	21
美容・コスメ・メイク学	18
獣医・獣医学	18
建築・建築学・建築デザイン	17
歯学・歯	14
還境・環境学	11
体育学	8
メディア・メディア学	8
理学療法・理学療法学	4
動物・動物系	4
生物・生物学	4
福祉・福祉学	3
体育系	3
生命・生命科学	3
人間科学	3
理工学	2
文化	2
映像	2
スポーツ健康科学	2
航空学	2
不動産学・不動産学科	2
宗教	2
天文・天文学	2
数学	2
地球科学・気象学	2
栄養・食物栄養	2
宇宙物理学	1
美学	1
地政学	1
海洋系	1

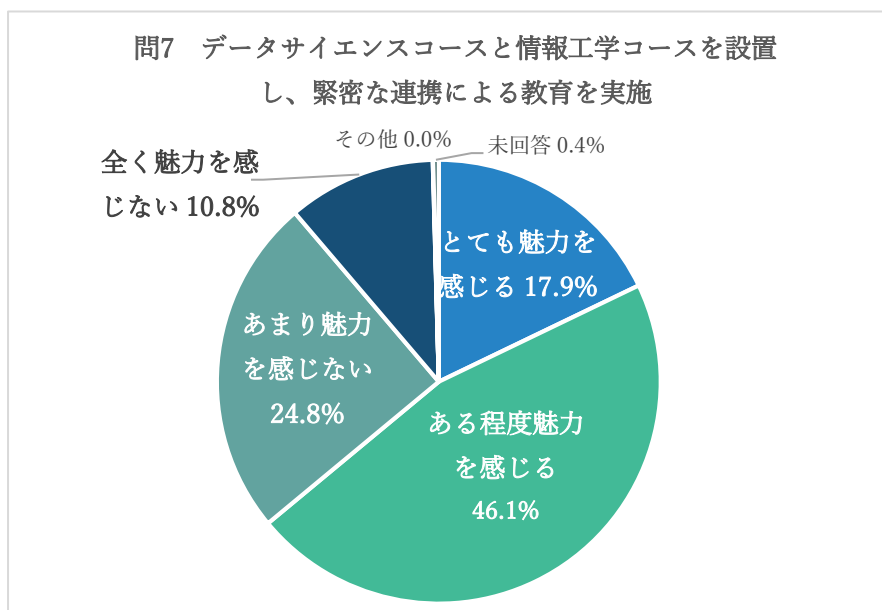
問6 その他自由記載	人数
文系と理系の学部	1
環境・生命理工	1
体育実技	1
環光学、環境学	1
統計学	1
看護・保健学	1
福祉学、言語聴覚学	1
医療衛生学	1
スポーツトレーナー	1
スポーツ・健康	1
危機管理	1
マスコミ	1
救急	1
都市化学・社会環境	1
教養学	1
動物行動学、獣医学	1
芸術	1
舞台芸術	1
健康	1
ものづくり大学	1
スポーツ運動生理学	1
放射線学	1
源石	1
料理・パティシエ	1
スポーツ科学、スポーツ社会学	1
映画の歴史	1
国際教養学	1
社会学	1
地学系	1
社会構想	1
地球環境	1
サブカルチャー	1
スポーツ係	1

問6 その他自由記載	人数
都市工学	1
Business	1
動物医療	1
獣医学・動物解剖学	1
脳科学	1
インテリア・観光	1
武道	1
えいが	1
モチベーション行動科学学部	1
お笑い	1
仏教	1
スポーツ工学	1
文化学、広告、メディア	1
保健衛生	1
ダンス	1
防衛学	1
トレーナー	1
医療技術	1
生命科学・食香	1
臨床、保健	1
全て	1
アナボリック・ステロイド	1
総合政策	1
アニメーション	1
Youtube	1
園芸学	1
なんでもいい	1
情報	1
神学（キリスト教）	1
特になし・わからない	22
総計	339

問7 千葉大学「情報・データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか※大学進学希望のみ

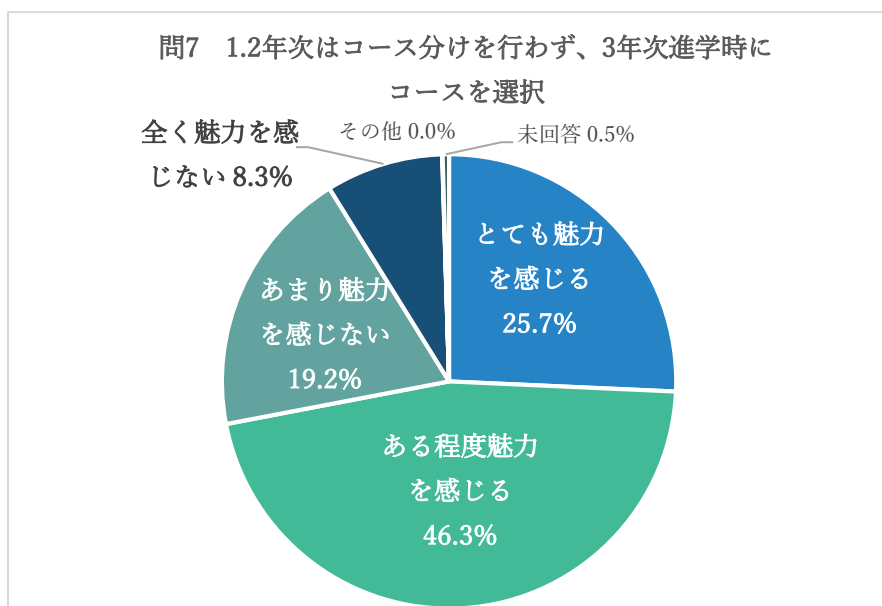
・データサイエンスコースと情報工学コースを設置し、緊密な連携による教育を実施

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	その他	未回答	合計
人数	2863	7394	3973	1731	5	65	16031
割合	17.9%	46.1%	24.8%	10.8%	0.0%	0.4%	100.0%



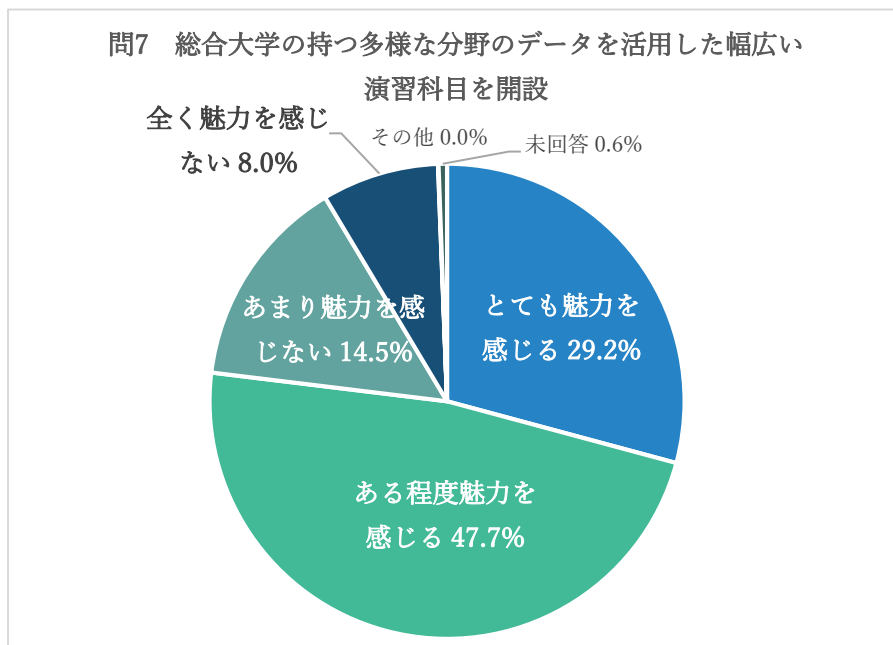
・1.2年次はコース分けを行わず、3年次進学時にコースを選択

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	その他	未回答	合計
人数	4122	7419	3074	1338	5	73	16031
割合	25.7%	46.3%	19.2%	8.3%	0.0%	0.5%	100.0%



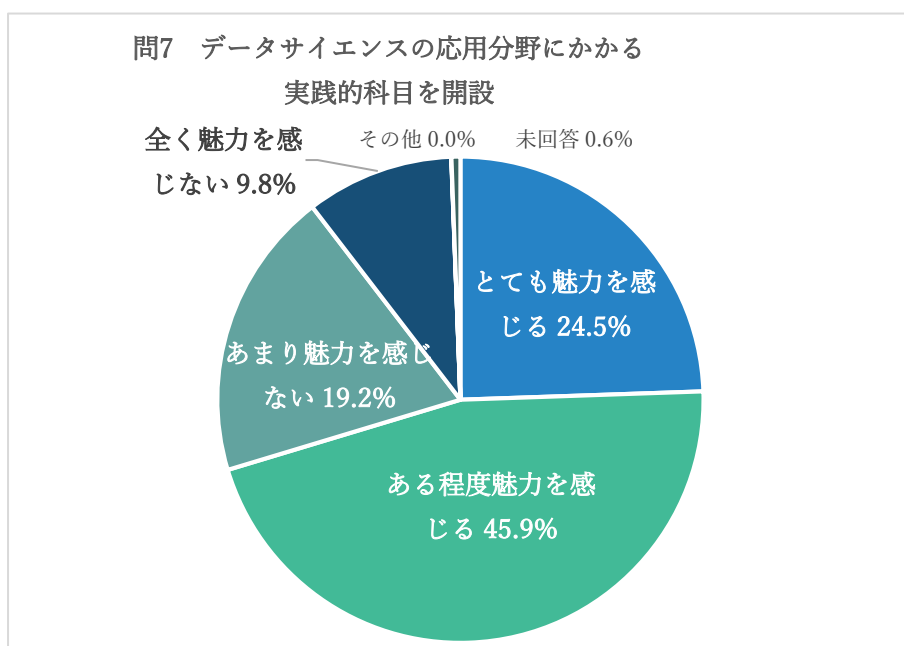
・総合大学の持つ多様な分野のデータを活用した幅広い演習科目を開設

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	その他	未回答	合計
人数	4679	7654	2322	1278	6	92	16031
割合	29.2%	47.7%	14.5%	8.0%	0.0%	0.6%	100.0%



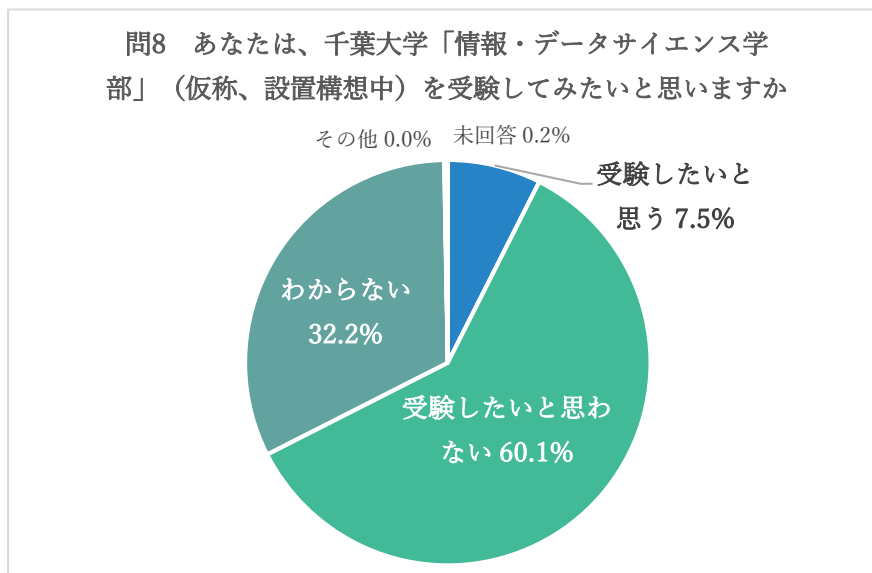
・データサイエンスの応用分野にかかる実践的科目を開設

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	その他	未回答	合計
人数	3920	7356	3083	1575	2	95	16031
割合	24.5%	45.9%	19.2%	9.8%	0.0%	0.6%	100.0%



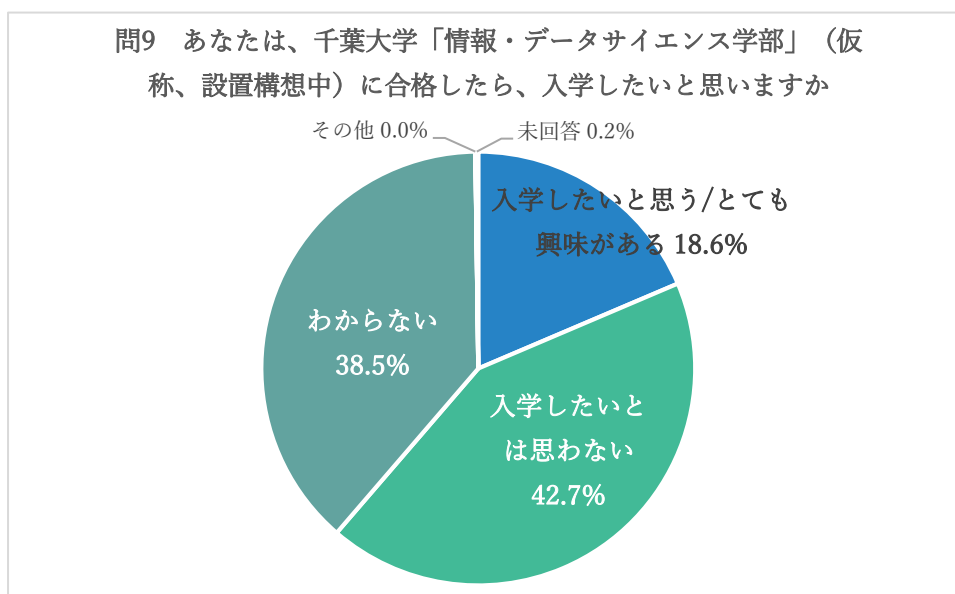
問8 あなたは、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか ※大学進学希望のみ

	受験したいと思う	受験したいと思わない	わからない	その他	未回答	合計
人数	1195	9629	5161	7	39	16031
割合	7.5%	60.1%	32.2%	0.0%	0.2%	100.0%



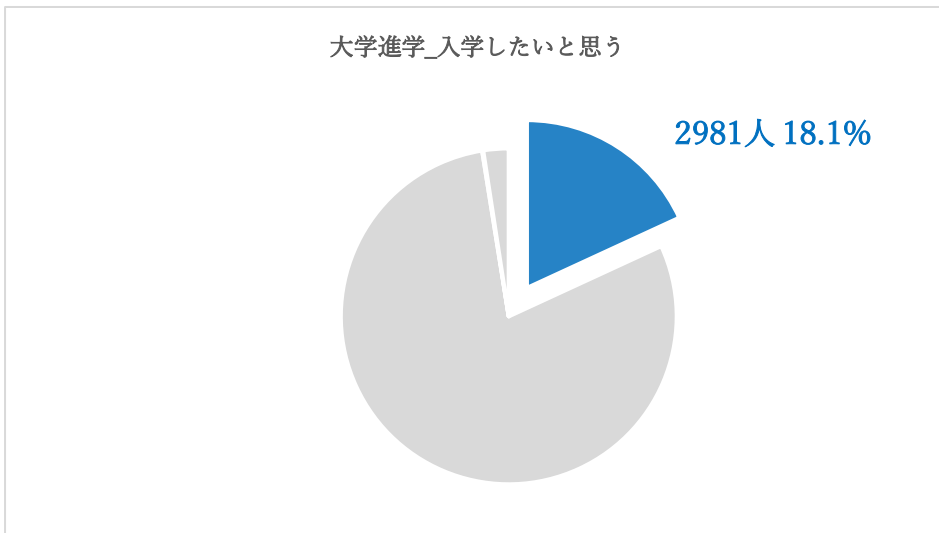
問9 あなたは、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）に合格したら、入学したいと思いますか ※大学進学希望のみ

	入学したいと思う/とても興味がある	入学したいと思わない	わからない	その他	未回答	合計
人数	2981	6849	6166	1	34	16031
割合	18.6%	42.7%	38.5%	0.0%	0.2%	100.0%



大学進学と回答した学生のうち入学したいと回答した学生の人数，割合

大学進学	入学したい	人数	割合
大学進学	全体	16031	97.5%
	入学したい	2981	18.1%
	入学したい以外	13050	79.3%



千葉大学学部入試状況 (定員, 志願者, 合格者, 入学者, 志願倍率)

千葉大学学部全体, 工学部全体, 情報工学コース

【資料4】

【千葉大学全体】	一般入試										特別入試				合計				
	前期日程					後期日程													
	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率
令和5年度	1,741	6,148	1,965	1,854	3.53	328	4,359	422	321	13.29	-	654	175	174	2,300	11,161	2,562	2,349	4.85
令和4年度	1,741	6,193	2,001	1,850	3.56	328	4,438	429	329	13.53	-	612	178	177	2,300	11,243	2,608	2,356	4.89
令和3年度	1,736	6,496	1,987	1,814	3.74	333	5,069	464	359	15.22	-	658	168	165	2,300	12,223	2,619	2,338	5.31
令和2年度	1,748	6,205	1,955	1,816	3.55	336	4,007	457	368	11.93	-	683	169	169	2,300	10,895	2,581	2,353	4.74
平成31年度	1,747	6,275	1,945	1,842	3.59	339	4,336	420	335	12.79	-	759	183	182	2,300	11,370	2,548	2,359	4.94

【工学部全体】	一般入試										特別入試				合計				
	前期日程					後期日程													
	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率
令和5年度	456	1,712	525	496	3.75	124	1,745	144	105	14.07	40	52	21	21	620	3,509	690	622	5.66
令和4年度	456	1,696	517	484	3.72	124	1,742	153	118	14.05	40	45	15	15	620	3,483	685	617	5.62
令和3年度	456	1,884	519	476	4.13	124	1,788	163	128	14.42	40	55	18	18	620	3,727	700	622	6.01
令和2年度	466	1,707	501	472	3.66	124	1,400	175	145	11.29	30	79	10	10	620	3,186	686	627	5.14
平成31年度	466	1,825	513	502	3.92	124	1,607	134	109	12.96	20	67	13	12	620	3,499	660	623	5.64

【工学部情報工学】	一般入試										特別入試				合計				
	前期日程					後期日程													
	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	合格者	入学者	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率
令和5年度	49	258	66	60	5.27	20	327	26	18	16.35	10	10	0	0	79	595	92	78	7.53
令和4年度	49	281	68	66	5.73	20	378	24	14	18.90	10	1	0	0	79	660	92	80	8.35
令和3年度	47	252	64	58	5.36	19	395	27	22	20.79	10	0	0	0	76	647	91	80	8.51
令和2年度	57	211	60	55	3.70	19	292	29	24	15.37	-	-	-	-	76	503	89	79	6.62
平成31年度	57	247	58	56	4.33	19	296	20	14	15.58	-	-	-	-	76	543	78	70	7.14

千葉大学「情報・データサイエンス学部／学府」（仮称）に関するアンケート

千葉大学ではデジタル人材全体の底上げ、専門人材の育成等といった社会の要請に応えるため、総合大学である強みを活かし、新たな学部および新たな大学院（後期3年博士課程）を設置のうえ、データサイエンスに関わる人材を育成したいと考えております。

このような千葉大学新学部／新学府構想の実現に向け、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

※本アンケートや送付した資料に記載されている事項は全て予定であり、内容が変更になる可能性があります。

※本アンケートより得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。*

- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。*

3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。*

- 農・林・漁・鉱業
- 運輸業
- 医療・福祉
- 建設業
- 卸売・小売業
- 複合サービス事業
- 製造業
- 金融・保険業
- サービス業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 不動産業
- 公務
- 情報通信業
- 飲食店・宿泊業
- 教育・学習支援事業
- その他

4. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

問5～8は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」
(仮称・設置構想中)についてお伺いします。

5. 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか。(あてはまるものを全て) *

- 工学系統 (情報・データサイエンス)
- 工学系統 (情報・データサイエンス以外)
- 理学系統
- 医・薬学系統
- 総合科学系統
- 看護・保健学系統
- 農・水産学系統
- 文学系統
- 語学系統
- 法学系統
- 経済・経営・商学系統
- 社会学系統
- 国際関係学系統
- 教員養成・教育学系統
- 生活科学系統
- 芸術学系統
- 学問系統にこだわらない
- その他

6. 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか。（3つ以内）*

最大3個のオプションを選択してください。

- 主体性
- 専門性
- 実行力
- 創造力
- 課題発見力
- 計画力
- 柔軟性
- 発信力
- 状況把握力
- 語学力
- 協調性
- コミュニケーション力

7. 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。*

- 必要だと思う
- 必要だと思わない
- わからない

8. 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。*

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない
- わからない

問9～12は、千葉大学「情報・データサイエンス学府
(後期3年博士課程)」(仮称・設置構想中)についてお伺

9. 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか。(3つ以内) *

最大3個のオプションを選択してください。

- 主体性
- 専門性
- 実行力
- 創造力
- 課題発見力
- 計画力
- 柔軟性
- 発信力
- 状況把握力
- 語学力
- 協調性
- コミュニケーション力

10. 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか。（あてはまるものを全て）*

- 工学系統（情報・データサイエンス）
- 工学系統（情報・データサイエンス以外）
- 理学系統
- 医・薬学系統
- 総合科学系統
- 看護・保健学系統
- 農・水産学系統
- 文学系統
- 語学系統
- 法学系統
- 経済・経営・商学系統
- 社会学系統
- 国際関係学系統
- 教員養成・教育学系統
- 生活科学系統
- 芸術学系統
- 学問系統にこだわらない
- その他

11. 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学
府」（仮称、設置構想中）は、
これからの社会にとって必要だと思われませんか。 *

- 必要だと思う
- 必要だと思わない
- わからない

12. 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮
称、設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われま
すか。 *

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない
- わからない

問13～14は、千葉大学 情報・データサイエンス学府
(後期3年博士課程) (仮称、設置構想中) への入学についてお伺いします。

13. 今後、貴社・貴団体の社員・職員の方を千葉大学「情報・データサイエンス学府」に派遣して、学位を取得させたいと思いますか。*

- そう思う
- ある程度そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- そう思わない

14. 社会人の大学院入学に関して、障害となることがあれば教えてください。(あてはまるものを全て)*

- 業務との両立が困難
- 経済的負担が大きい
- 上司や同僚の理解が得られない
- 通学に時間がかかりすぎる
- 大学院修了のインセンティブが少ない
- 大学院の学修は現場で生かない
- その他

15. 千葉大学「情報・データサイエンス学部／情報・データサイエンス学府」（仮称、設置構想中）について、ご意見等がありましたらお聞かせください。

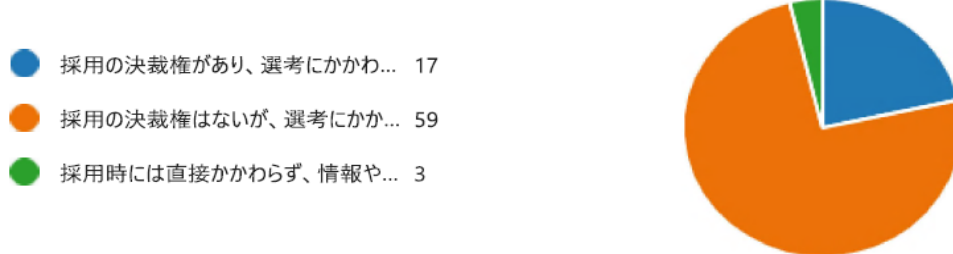
16. 最後に、貴社・貴団体名をお教えてください。
なお、こちらはどの企業等にご回答頂いたかを把握するためのお伺いであり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業等が識別できる情報として公表されることはありません。*

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

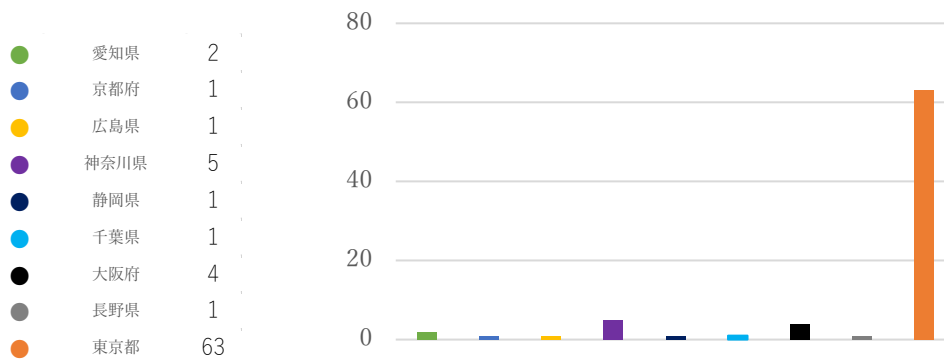
 Microsoft Forms

企業等へのアンケート結果

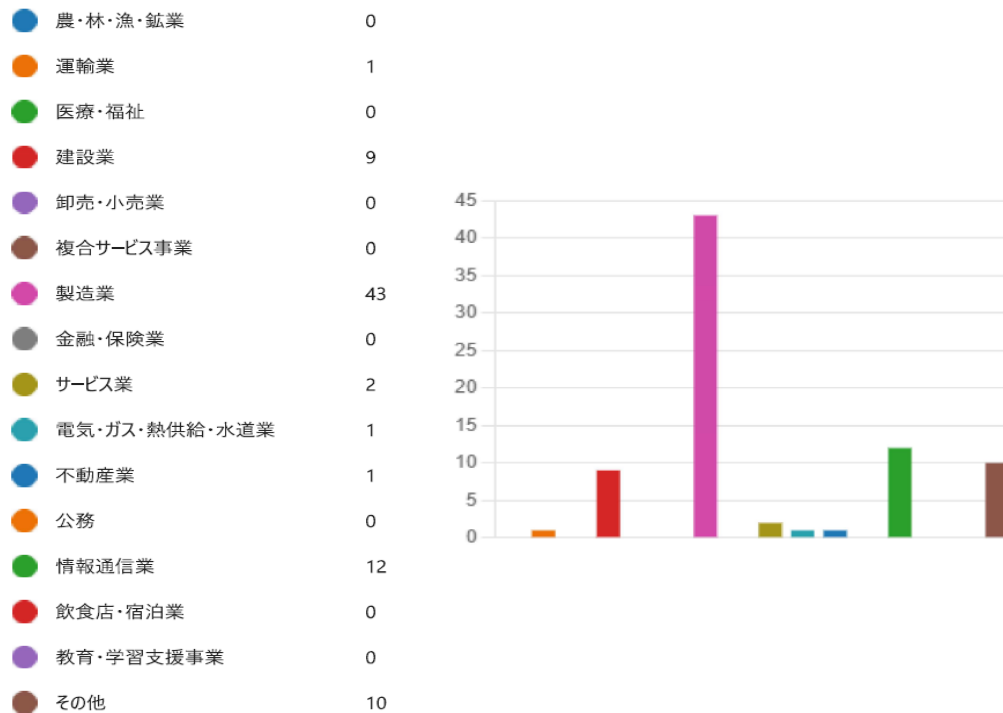
問1 アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください



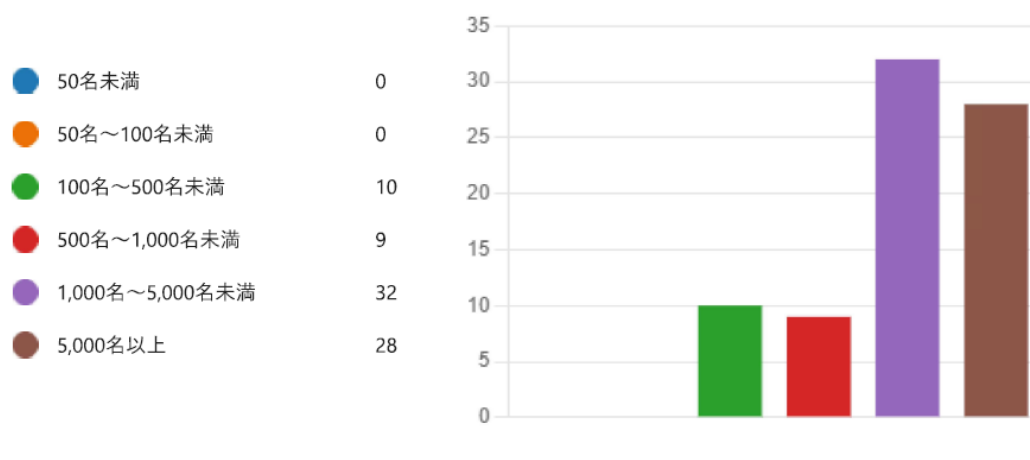
問2 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください



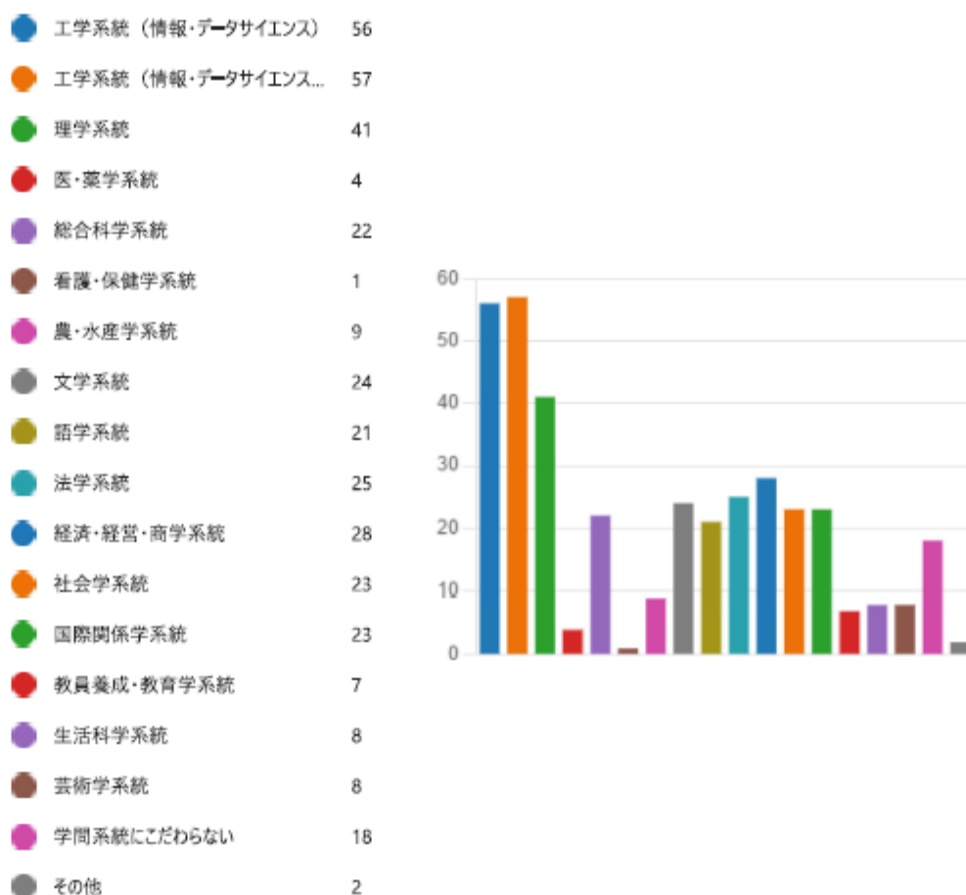
問3 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください



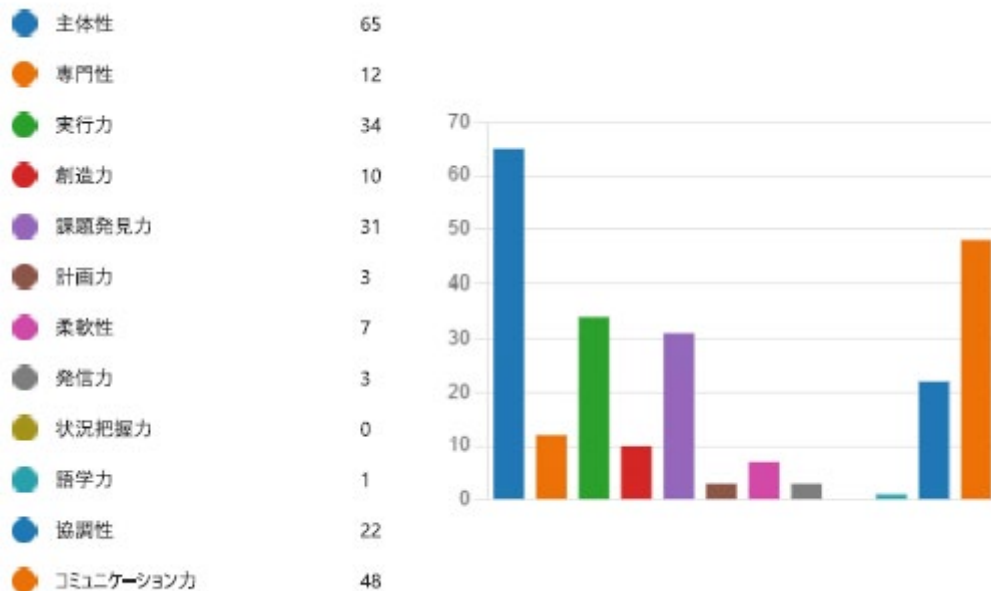
問4 貴社・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください



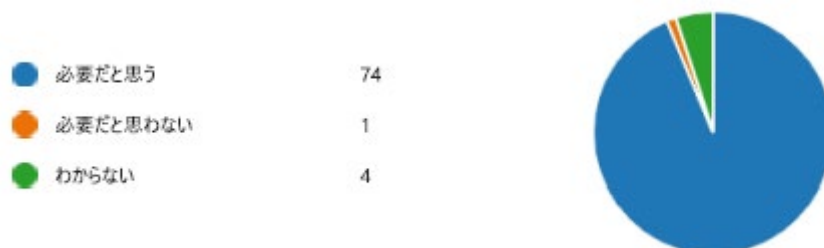
問5 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか（あてはまるものを全て）



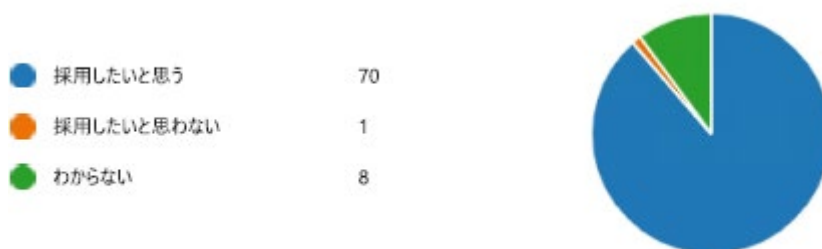
問6 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか
(3つ以内)



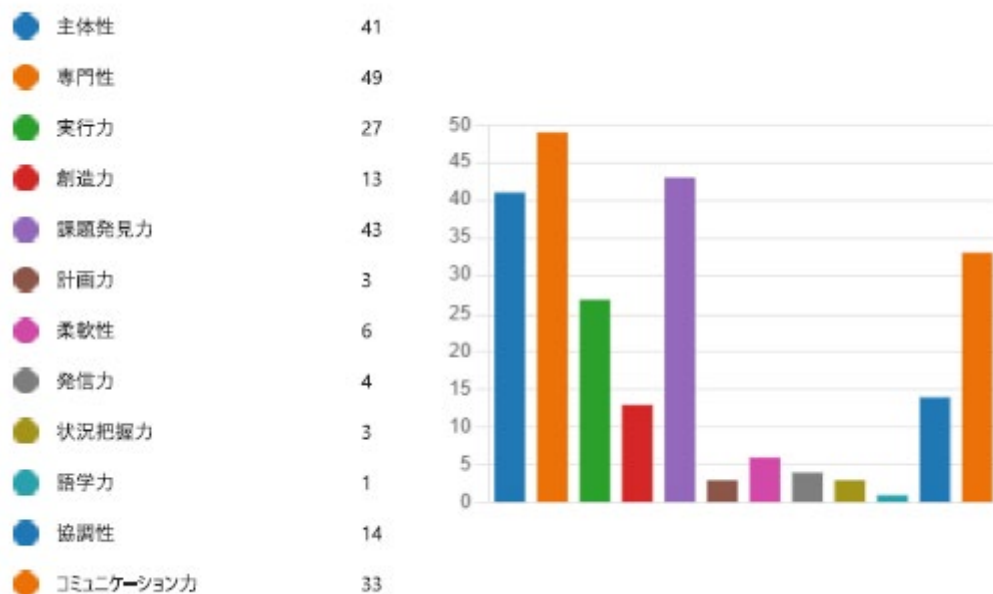
問7 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称，設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか



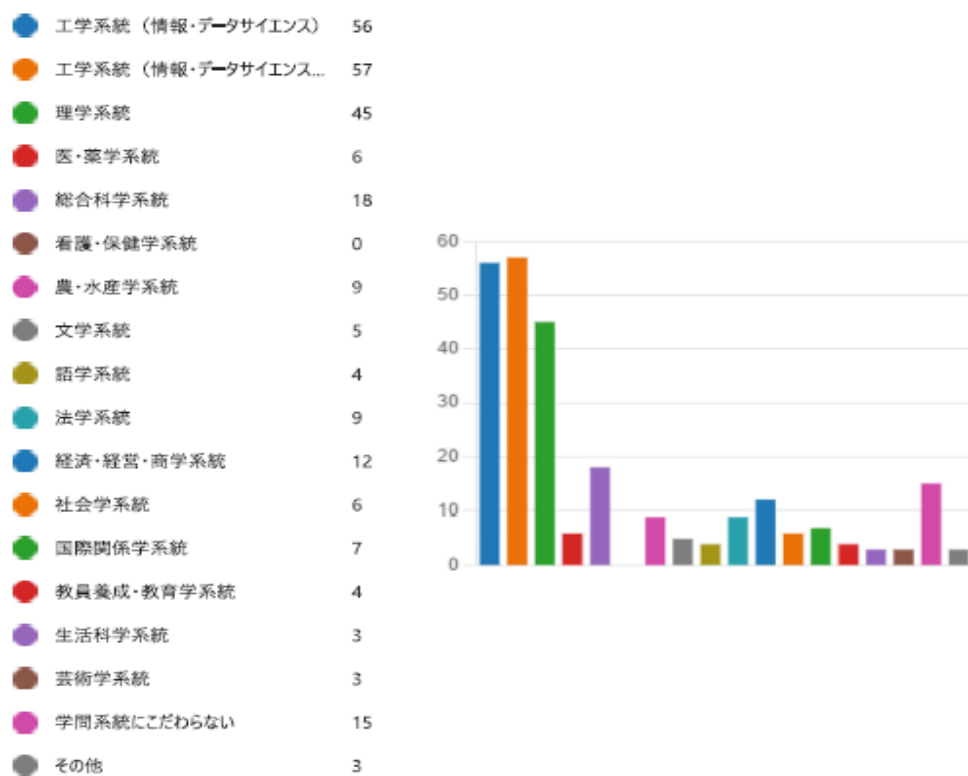
問8 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称，設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか



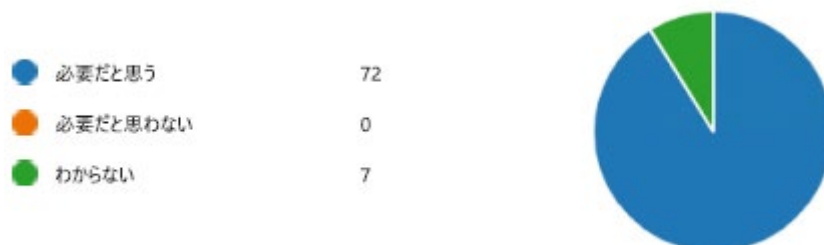
問9 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか（3つ以内）



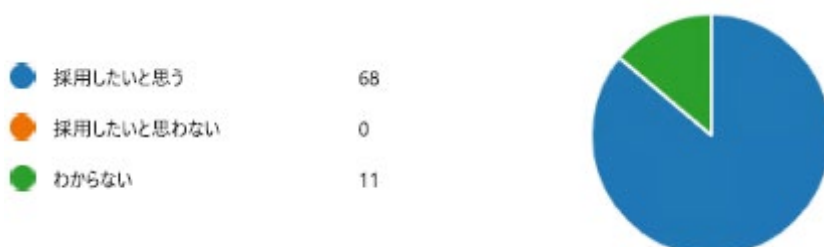
問10 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか（あてはまるものを全て）



問 11 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか



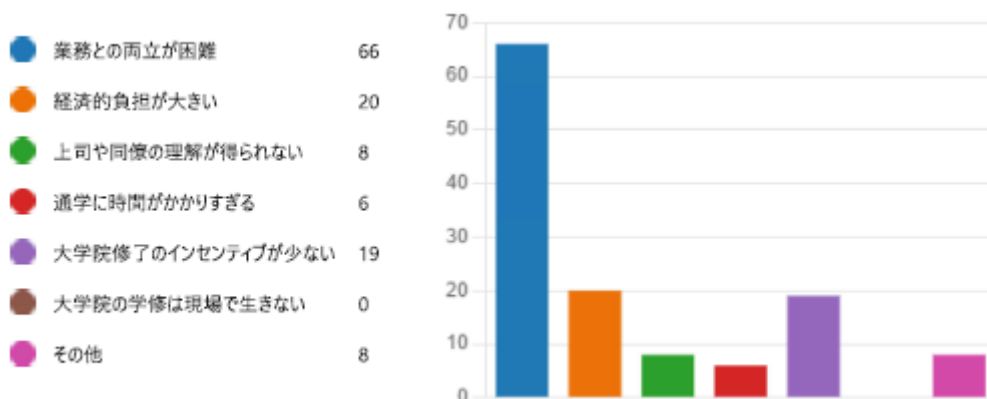
問 12 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われますか



問 13 今後、貴社・貴団体の社員・職員の方を千葉大学「情報・データサイエンス学府」に派遣して、学位を取得させたいと思いますか



問 14 社会人の大学院入学に関して、障害となることがあれば教えてください（あてはまるものを全て）



問 15 千葉大学「情報・データサイエンス学部／情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）について，ご意見等がありましたらお聞かせください

- データ分析能力は，今後の社会創造，新しい価値観を創造する上で必要である。
- 貴学からは学部/専門問わず長年に渡り優秀な学生さんを採用させていただいてきました。学生さんには，貴学の学問に集中できる環境を活かして，周りの声に惑わされず伸び伸びと学んでいただきたいです。またキャリア教育と英語教育についても同時並行で行っていったらより良い未来が待ち受けていると考えております。是非一緒に学生さんのキャリアを考えていきたいです。
- 社会全体の IT 化が進む中，データサイエンティストの育成は必要と思います。構想が時代の流れによる一過性のものにならず，中長期的に優秀な人材を育成する環境として整備していってほしいと思います。
- 弊社でも IT 研修を拡大しておりますが，バイオ・ケミカル系の研究においてデータサイエンスはツールとしての色が濃く，「何に使うのか」という apply 先の知識・経験を同時あるいは先行して深めることが極めて重要になっています。（例えば医薬品開発のあるフェーズは通常 4 年半かかりますが、AI・データサイエンスの導入により 1 年未満で終了したという極めてインプレッションの高い事例があります。ただし、データサイエンティストにも医薬品開発の知識が要求されます）就学中にデータサイエンスの応用・適用まで理解を深めていただくと、きわめて需要の高い人材に成長できるかと思います。ご参考になりましたら幸いです。
- これからの情報社会にとっては必要不可欠と考えます。
- 千葉県に研究所や基幹工場があり、データサイエンス機能を強化しようと思っておりますので、採用面はもちろん様々なかたちで連携させていただければありがたいです。